

Abrantes

について



アブランテス

テージョ川 (Rio Tejo) のほとりの丘の斜面に位置するアブランテス (Abrantes) は、長らく戦略上の要となる重要な場所とされてきました。それというのも、町の最も高い地点から望む広大なパノラマには、テージョ川の流れのほとんどと、さらにはベイラ・バイシャ (Beira Baixa)、リバテージョ (Ribatejo)、アレンテージョ (Alentejo) を一望のもとに収めることができるからです。

ムーア人が城を築いたのも、まさにこの地でした。やがてそれは、ポルトガル初代国王アフォンソ・エンリケス (Afonso Henriques) によって奪取され、その後サンティアゴ・デ・エスパーダ宗教騎士団 (Ordem Religiosa e Militar de Santiago de Espada) に国土の守備と植民のため与えられました。

19世紀、この地方一帯は、侵攻してきたナポレオン軍による略奪と占領を被りました。4年後、イギリス軍の援護を受けた住民の勇敢な戦いによって、ようやく侵入軍が駆逐されるにいたりました。

今日のアブランテスは平和な町であり、白い石灰壁の家々が立ち並んだ町並みは、気持ちのよい散策にうってつけです。花々が咲きこぼれるこの町の家は、ポルトガル全土で最も豊かに花が飾られているといわれています。

卵と砂糖でできた有名な郷土菓子も、ぜひお試しくださいティジェラーダ (Tigeladas) (卵、小麦粉、砂糖を材料にオーブンで焼いたパンケーキ) と、パーリャ・デ・アブランテス (Palha de Abrantes) です。